

# 第2次静岡県循環器病対策推進計画の 進行管理について



令和7年2月14日（金）  
静岡県健康福祉部医療局  
疾病対策課



# ア 令和6年度循環器病対策推進事業の状況

# 第2次静岡県循環器病対策推進計画の概要

項目	内 容	
趣旨	循環器病対策基本法に基づき、県民の健康寿命の更なる延伸を図るため、循環器病の予防や正しい知識の普及啓発、保健・医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実等に取り組む。	
位置付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 循環器病対策基本法に基づき、国の「第2期循環器病対策推進基本計画」を基本とし、本県における循環器病対策を推進するために策定する。</li> <li>● 県総合計画の分野別計画であり、「第9次静岡県保健医療計画」等と整合性を図る。</li> </ul>	
計画期間	<u>2024（令和6）年度から2029（令和11）年度までの6年間</u>	
全体目標	<p><u>①健康寿命の延伸</u> 他の施策とともに、平均寿命の増加分を上回るよう、健康寿命を延伸させる。</p> <p><u>②循環器病の年齢調整死亡率の減少</u> 脳卒中及び心血管疾患の年齢調整死亡率を減少させる。</p>	
主な内容	分野別施策	脳卒中、心血管疾患ごとに各病期における保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実について記載 <u>(1) 予防・啓発、(2) 救護、(3) 急性期、(4) 回復期、(5) 維持期・生活期、(6) 再発・重症化予防</u>
	推進体制	他の疾病等に係る対策との連携、感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策 等

# 各部会（脳卒中部会、心血管疾患部会）の取組

区 分	内 容
目的	一次脳卒中センター（一般社団法人日本脳卒中学会認定）の連携を強化する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一次脳卒中センター（25病院）に対し、事前アンケートを実施し、急性期治療の実績等を取りまとめ、関係者間で共有</li> <li>• 地域ごとの課題の把握、対策の検討するため、一次脳卒中センターの関係者の情報交換を実施</li> </ul> <p>日時：令和6年7月27日（土）午後3時～4時30分                  場所：レイアップ御幸町ビル5階5-C会議室(オンライン併用)                  参加者：一次脳卒中センターの関係者等 31人</p>

## 第2次静岡県循環器病対策推進計画の関連記載

- 地域の急性期医療機関と回復期及び在宅医療を含む維持期・生活期の医療機関等が、診療情報やリハビリテーションを含む治療計画、合併症等の患者の状態、家族の状況等を脳卒中地域医療連携パスやICT端末等にて共有及び意見交換し、リハビリテーション、合併症の治療、再発した場合の治療を連携して実施する体制づくりを推進します。
- 脳卒中の地域医療連携パスの普及、充実のために、記載項目の標準化や見直しの取組を進め、特に栄養状態や嚥下機能の評価を行うことによって円滑な嚥下訓練につなげる仕組みづくりを推進します。
- また、脳卒中の地域医療連携パスの活用を推進するため、医療機関間の情報共有におけるICTの活用を進めます。

# 一次脳卒中センター(PSC) (一般社団法人日本脳卒中学会認定)

認定期間：2024/4/1～2025/3/31

	保健医療圏	施設名
1	熱海伊東	国際医療福祉大学熱海病院
2	熱海伊東	熱海所記念病院
3	駿東田方	沼津市立病院
4	駿東田方	医療法人社団親和会西島病院
5	駿東田方	医療法人社団淳和会前田脳神経外科
6	駿東田方	順天堂大学医学部附属静岡病院
7	富士	富士脳障害研究所附属病院
8	富士	富士市立中央病院
9	静岡	静岡県立総合病院
10	静岡	静岡市立静岡病院
11	静岡	静岡赤十字病院
12	静岡	静岡済生会総合病院
13	静岡	静岡市立清水病院

	保健医療圏	施設名
14	志太榛原	島田市立総合医療センター
15	志太榛原	焼津市立総合病院
16	志太榛原	コミュニティホスピタル甲賀病院
17	志太榛原	藤枝市立総合病院
18	志太榛原	医療法人社団平成会藤枝平成記念病院
19	中東遠	磐田市立総合病院
20	中東遠	中東遠総合医療センター
21	西部	浜松医科大学医学部附属病院
22	西部	総合病院聖隷浜松病院
23	西部	総合病院聖隷三方原病院
24	西部	浜松医療センター
25	西部	浜松ろうさい病院

# 脳卒中に関する情報交換会での主な御意見

## 普及啓発

- 消防隊、院内の体制はどうかできるが、救急隊にたどり着くまでが課題。気軽にアクセスできるように、情報発信できると良い。
- ケアマネに知ってもらうために、多職種が出席する会議でお願いしてはどうか。
- 講演会は、興味がある人しか来ないので、興味がない人にも啓発していかないといけない。様々な疾患についてCMをすること等は効果がある。
- 市民公開講座は民生委員、自治会、地域包括支援センターと連携して行政は進めて行くべき。

## 病院前スケール

- 救急隊から何を使ったら良いか聞かれるので、混乱しないように何か示せると良い。
- 県内全域は難しくとも隣接医療圏では統一した方が良いように思うが、今後、何かの機会に救急隊も交えて議論を進めていければ良い。

## 院内体制

<t-PAのDoor to needleの時間短縮の取組（ガイドライン：60分未満）>

- 軽症な患者についてCT撮影、造影に時間がかかっている。専門医なら撮影が終わるのを待たずに投与することができるが、臨床研修医などもあるので、院内体制を整備したい。
- 脳卒中の患者が来るとわかった時のスタッフの手順をシンプルにした（定例的な検査等）ので、時間が短くなった。

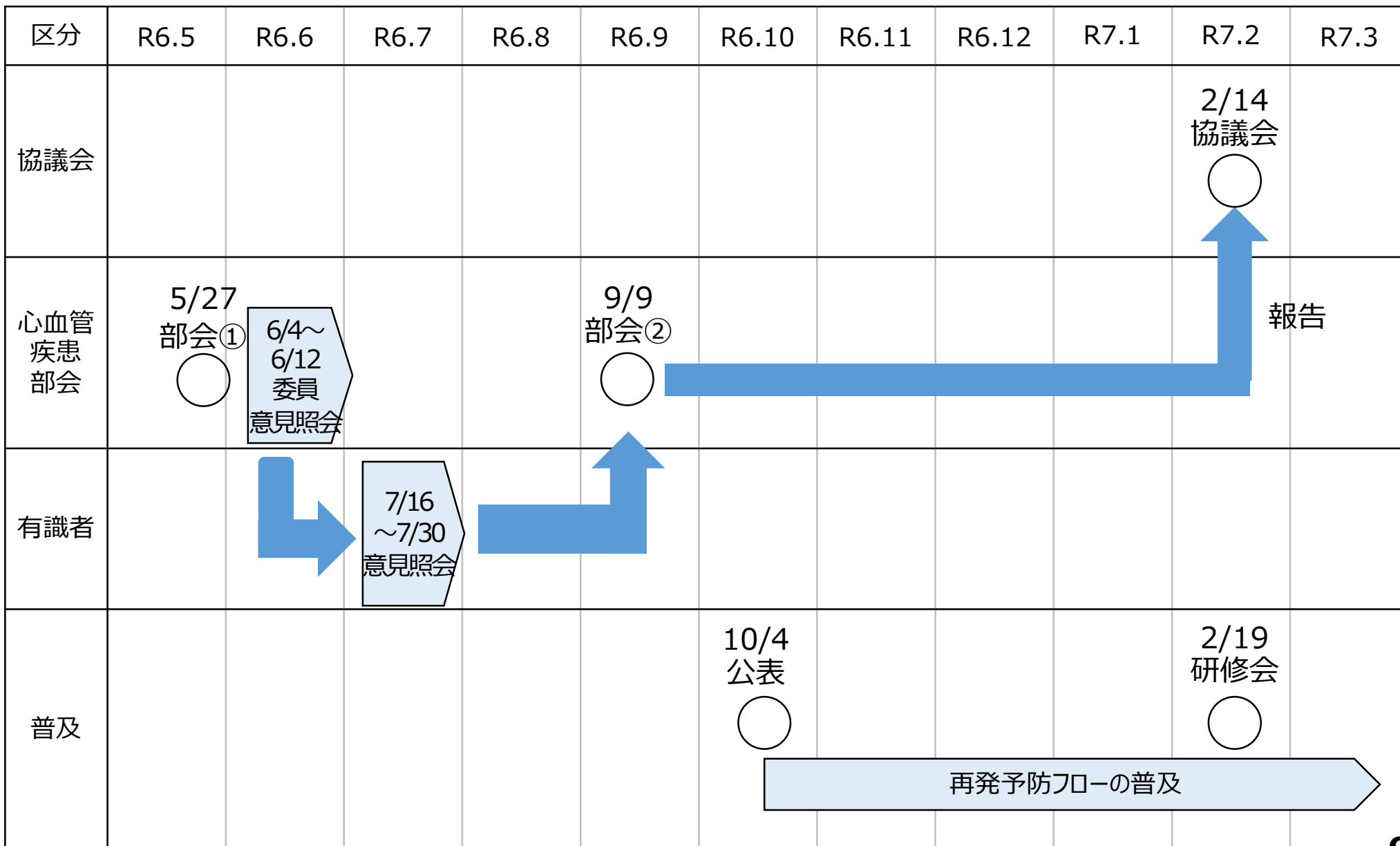
区 分	内 容
目的	急性心筋梗塞等の急性冠症候群の治療に関わる医療従事者による適切なリスクコントロールを推進するため、再発予防フロー（二次予防の指針）（静岡県版）を作成して、普及を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年5月～10月に県内の急性期医療機関の医師やかかりつけ医の皆様にご協力いただきながら、静岡県循環器病対策推進協議会心血管疾患部会において検討の上、「急性冠症候群 再発予防フロー 静岡県版」を作成した。</li> </ul>

## 第2次静岡県循環器病対策推進計画の関連記載

- 専門的な治療ができる医療機関において迅速に治療を開始できるように、患者、家族等への適切な情報提供や生活習慣病の厳格な管理を担うかかりつけ医等向けの研修会や症例研究会の取組を進めます。
- 地域の急性期医療機関と回復期及び在宅医療を含む維持期・生活期の医療機関等が、診療情報やリハビリテーションを含む治療計画、合併症等の患者の状態、家族の状況等を地域医療連携パス等にて共有し、一貫したリハビリテーション、合併症の治療及び再発した場合の治療を連携して実施する体制づくりを推進します。
- かかりつけ医・かかりつけ薬局等と専門的医療を行う施設の医療従事者との連携が適切に行われるような取組を進めます。



# 急性冠症候群の再発予防フローの作成・普及



# 再発予防フローの作成に当たっての意見照会

区分	意見照会先		備考
急性期 医療機関	【東部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 岡村記念病院</li> <li>• 順天堂大学医学部附属静岡病院</li> <li>• 富士市立中央病院</li> <li>• 静岡医療センター</li> </ul>	令和3年DPCにおいて、急性心筋梗塞の治療実績の多い医療機関
	【中部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 静岡市立静岡病院</li> <li>• 静岡県立総合病院</li> <li>• 静岡済生会総合病院</li> <li>• 藤枝市立総合病院</li> <li>• 島田市立総合医療センター</li> </ul>	
	【西部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中東遠総合医療センター</li> <li>• 聖隷三方原病院</li> <li>• 聖隷浜松病院</li> <li>• 浜松医療センター</li> <li>• 浜松医科大学医学部附属病院</li> <li>• 磐田市立総合病院</li> </ul>	
診療所	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療連携を進めている地域の中心的役割を担う医師 等</li> </ul>		

# 再発予防フローの活用案内（ホームページ掲載内容）

## 使い方

一般的な急性冠症候群におけるLDL-Cの管理を主眼に置いたものであって、急性冠症候群全体の急性期から慢性期（維持期・生活期）に至るまでの管理を網羅的に記載したものではありません。

このため、症例によっては、必ずしも本フローに従う必要はなく、個々の患者の状況に応じた治療を行ってください。

また、本フローによる運用に併せて、栄養・食事指導、禁煙指導、運動指導を実施してください。

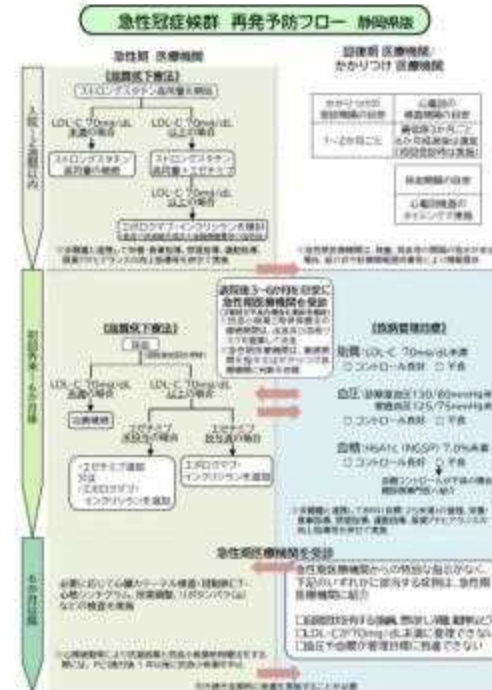
<https://www.pref.shizuoka.jp/kenko/fukushi/shippeikansensho/ganshippei/1065958/1066685.html>




## 具体的な活用方法

シートの左側が急性期医療機関の標準的な実施項目、右側が地域のかかりつけ医等の標準的な実施項目になっています。

急性期医療機関からかかりつけ医等へ紹介状と併せて送付する、患者にお渡しするなどして御活用ください。



# 循環器病対策の医療連携に関する研修会

区 分	内 容
目的	静岡県循環器病対策推進協議会心血管疾患部会において作成した「急性冠症候群再発予防フロー静岡県版」の普及等を通じて、循環器病に係る医療連携を推進する。
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>循環器病対策の医療連携に関する研修会を開催する。 日時：令和7年2月19日（水） 午後7時～8時10分 開催方法：オンライン（Zoomミーティング） 講師：静岡市立静岡病院 循環器内科 医師 影山茂貴先生 対象：かかりつけ医、医療・介護の多職種、行政担当者 等 申込方法：ふじのくに電子申請サービス <a href="https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14156">https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14156</a></li></ul> 

## その他主な取組

# 循環器病に関する県民向け講演会

区 分	内 容
目的	県民向けに循環器病の予防等について普及啓発を行う。
内容	<p>静岡社会健康医学大学院大学と連携して講演会を行った。</p> <p>日時：令和6年10月14日（月・祝） 午後2時～4時 場所：グランシップ 1001会議室 テーマ：知って防ごう！脳梗塞と心筋梗塞 講師：静岡社会健康医学大学院大学 医師 浦野哲盟先生 静岡市立静岡病院 循環器内科 医師 影山茂貴先生 静岡県栄養士会 管理栄養士 久保田美保子先生 順天堂大学医学部附属静岡病院 理学療法士 小林敦郎先生</p> <p>参加者：153人 主催：静岡県・静岡社会健康医学大学院大学</p> <p>また、講演内容をYouTubeで配信している。 YouTube視聴数：1,243回（令和7年2月7日時点） <a href="https://www.youtube.com/watch?v=gdvjwxNy5as">https://www.youtube.com/watch?v=gdvjwxNy5as</a></p> 

# 県民向け普及啓発

区 分	内 容
目的	県民向けに循環器病の予防等について普及啓発を行う。
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>• 世界脳卒中デー（10月29日）や健康ハートの日（8月10日）等を中心として、SNS等の各種広報媒体による啓発を行った。</li><li>• また、関連団体等と連携したライトアップを実施している。</li></ul>

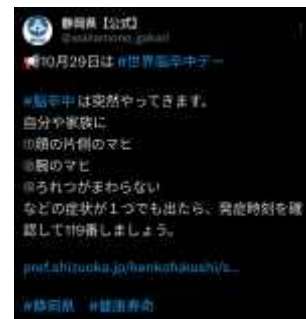
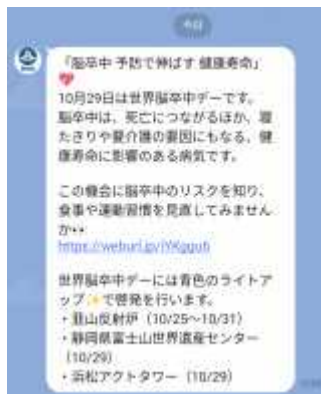


# 世界脳卒中デー（10月29日）に合わせた普及啓発

## 県庁本館前への立看板設置



## 静岡県公式SNSでの情報発信



## 聖隷浜松病院



## 浜松城



## ライトアップ（青色）

### 韮山反射炉



### 富士山世界遺産センター



### アクトタワー



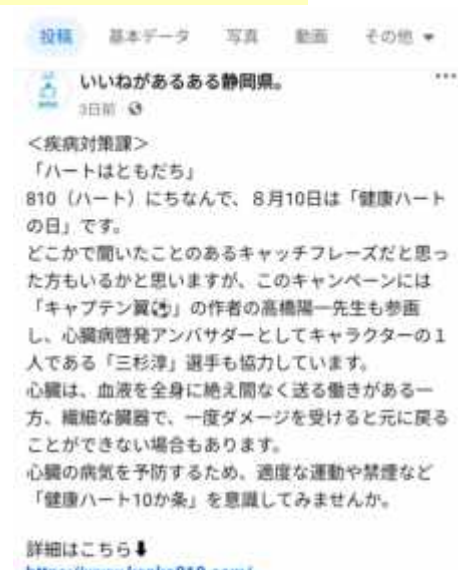
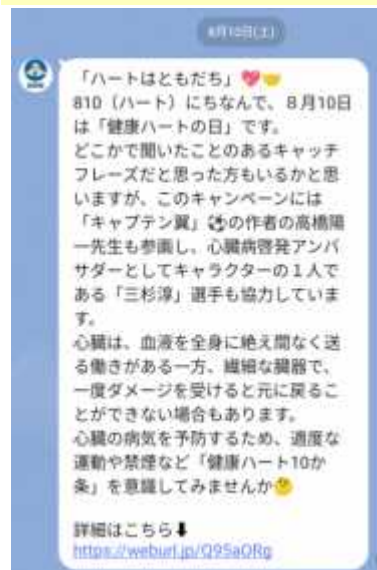


# 健康ハートの日（8月10日）に合わせた普及啓発

## 県庁本館前への立看板設置



## 静岡県公式SNSでの情報発信



## ライトアップ（赤色）

韮山反射炉



静岡市役所



アクトタワー



# 心不全手帳の活用

区分	内容	
目的	心不全手帳を活用し、生活習慣病の管理、医療連携パスとして利活用し、心不全患者の再入院を減少させる。	
協力医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 順天堂大学医学部附属静岡病院</li> <li>• 静岡医療センター</li> <li>• 静岡市立静岡病院</li> <li>• 磐田市立総合病院</li> <li>• 浜松医科大学医学部附属病院</li> <li>• 浜松医療センター</li> <li>• 聖隷浜松病院</li> <li>• 浜松赤十字病院</li> </ul>	新たな協力医療機関（R6～） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 下田メディカルセンター</li> <li>• 静岡県立総合病院</li> <li>• 静岡赤十字病院</li> <li>• 島田市立総合医療センター</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 12機関</p>
内容	<p>&lt;令和6年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 協力医療機関を拡大（8⇒12機関）し、心不全手帳（第3版）を配布した。</li> <li>• 協力医療機関での心不全手帳導入後の再入院率の把握を行った。</li> </ul>	



# 心不全再入院予防診療支援

区分	内容
目的	心不全の包括的診療体制を構築する試みとして、心不全急性増悪の早期診断を可能とするデバイス（呼吸データを可視化）を導入し、心不全急性増悪の早期発見を図り、早期治療に結びつける。
導入施設	• 浜松医科大学
内容	<令和6年度> • 心不全患者及び健常者に順次配布し、データ収集及び解析



# 先天性心疾患患者の支援体制構築

区分	内容
目的	県内の成人先天性心疾患（ACHD）患者情報を収集・登録するデータベースを構築し、エビデンスに基づく医療提供を推進する。
導入施設	・ 静岡県立こども病院
内容	＜令和6年度＞ ・ ACHD患者情報を登録するデータベースをテスト環境で構築し、検証の上、本番環境への移行を行う。